にいが

http://niigatachihon.yukigesho.com/

架線凍結による列車遅延

対策を講じるように求めて再申し入れ

JR東日本労働組合新潟地方本部

2019年12月20日発行

第13号(通巻第141号)

発行者: 星山 圭 編集者:教育·広報部

ヤ改正の検証及び諸設備に関する申し入れの団体交 新潟地本は12月11日に2018年度申16号・ダイ

で再開すると整理し団体交渉を中断としました。 に差異があることから、支社側が再度調査を行った上 運転士折り返し時間について、支社側の回答と実態

る枝番運用とリスクは一! をしており要求されてい の注意力で充当チェック なる現行の取扱いは人間 要であるとした上で、条件 テム上の課題クリアが必 に応じて3種類の行路と 必要な日だけ指定するよ う求めると支社側は、シス | 場で短時間行路の設定が 短時間行路を枝番とし」緒だとしました。 | るが、勤務指定時に基本行 題だとしました。 の作業が大変なことが課 路を崩して作成するため 定することを想定してい 行路から列車を抜いて指 必要となった場合は、基本 また、現在設定の無い職

る行路かどうかを含めて の課題を問うと支社側は、 組合側と認識は一緒だと 利用者にとって利用でき しました。

考え方であるとしました。 | に近づけつつ拘束時間を | 労働時間Aを7時間 10 分 短くすることが基本的な ると支社側は、総論として 路における拘束時間を12 時間以内とするよう求め

で発生した事象であり労 1Mに大幅な列車遅延が 発生しました。 申6号の議論を経た中

新潟地方本部は申6号・|と共に、初列車の前にカッ として具体的な対策を講 しるように求めました。 ター代行を運行すること」 施するとの回答を行った ため現行通りの対策を実 行しダイヤ設定上厳しい 体交渉では、貨物列車が先 11月6日に開催した団 |に対する再申し入れを提 月10日、申11号として、2 | めるとともに、今事象の再 |働組合として重く受け止 出しました。 | 019年度冬期の取組み |の認識から、新潟地本は12 | 急な議論が必要であると |発防止に対する労使の早

の架線凍結対策を講じる いて「信越線長岡~柏崎間 みに対する申し入れにお 2019年度冬期の取組

1. 信越線長岡~柏崎間の ■申11号申し入れ項目

共に、初列車の前にカッ 架線凍結対策を講じると 代行を運行するこ

間において架線凍結によ

地はあるとしていました。 提案し、支社側も検討の余 ッター代行運転の試行を 団が貨物列車運休日のカ 支社側に対して地本交渉

かし12月9日、当該区

ター

これまで運用してきて

に所定行路から列車を抜一で考えているとしました。 短時間行路を作るため 設定もないため現行通り

したと回答しました。 交渉団は、運輸区と調整

との回答は認められず、 は点呼の有無に関わらず

指示はないとしました。 えで、本社から許容限度の 認識していると認めたう とを指摘すると支社側も き出した結果、 間Bが増加しているこ その分労働 | し時間が違うことについ タイミングが見直すタイ |をして得た結果であるの | で正当であるとの認識を とは認識しているが、実測 示し、徒歩経路の変更等の て支社側は、差異があるこ

の運転士と車掌の折り返しこングだとしました。 同一箇所で同じ足取り

折り返し時間2分をめぐり交渉を中断

土づくりに全組合員で取

超えた安全議論や安全風

り組んでいきます。

職場から労働組合の枠を

これからも鉄道の安全

び乗務終了後に2分加算 するよう求めました。 点呼不要に乗務開始前及 自動車便乗に関わる出先|ました。 おける長岡運輸区場面の レベルではないと指摘し 支社側は、行路の途中に 運転士折り返し時間に | 2分であり、意見や主張の

運転士と車掌の日勤行

することは想定せず行路 輸区からタクシー便乗を | ら、後日、再度団体交渉を おいて点呼無しで長岡運

る運転難渋により132 乗る場合は「点呼有り」と | 輸区からタクシーに直接 内訳だと回答しました。 て、点呼2分+徒歩2分が 見なして4分を付けてい その上で、乱れて長岡運

ためノーペイ承知で設定 運輸区場面で昼食を取る|ダイヤ改正に関する提案| 区からの要請により長岡 は、調査の結果、長岡運輸 ある理由を質すと支社側 作業があるのに0分で

る足取りで「点呼有り」で からも、移動が生じる以上 社側が回答していること は2分は移動であると支 クシー乗り場まで移動す したからノーペイで良い タ

中断としました。

2010年度システムテェンジ・コストダウン計画・ダイヤ改正提案団体交

|ストダウン計画」の実施に | 年度システムチェンジ・コ ついてとして、支社側より 団体交渉を行い「2019 新潟地本は12月18日に 運輸区で運転士+2、車掌 設定を行う」として、 現に向けた短時間行路の 様な働き方と効率性の実 を受けました。 要員増減については「多

今回は新津運輸区に設定 と効率性の実現のために 車掌とも1行路ずつ設定 するとして、多様な働き方 問うと支社側は、運転士、 区の短時間行路について したと回答しました。 地本交渉団が新津運輸

その上で、現時点で新

津

っていないとしました。

女性社員も配属され、女性 運輸区には育児介護制度 に限らずいつでも制度を の利用希望者はいないが、 利用できる状況を示した

方が良いという考えから 設定したとしました。

+2のあわせて+4とし 新津 ると応荷重装置が反 れないなどの不具合につ 良、耐雪ブレーキを使用す 力行不具合やモニター不 し、キハ40系列を置き換え いるとする一方で、いつま いては現行改修を進 るとの説明を受けました。 - E400系」 40 両を導入 導入以降発生している 新型電気式気動車「GV 映

ました。

羽越線脱線事故 献花・慰霊 **歌道の安全を守る決意を新たに**

|羽越本線「いなほ」号脱線|確立を重要課題に据えて、 日、2005年に発生した 献花を行いました。 事故現場の慰霊碑を訪れ 地本執行部は12月12 | ています

たにしました。 合として職場から安全を 起こさないために、労働組 創り出していく決意を新 二度と痛ましい事故を

は受け止め理解している 開催して回答及び議論を |もらいたいとしたことか 行うことで整理し、交渉を いとした支社側が時間を が席上で回答は変わらな 組合側の指摘の正当性 命を守り安全を守る取り ていく中、労働組合として ムやルール、作業が変わっ な効率化施策が矢継ぎ早 に提案・実施され、システ 降、様々な制度変更や大き 組みの重要性はより増 変革2027の発表以